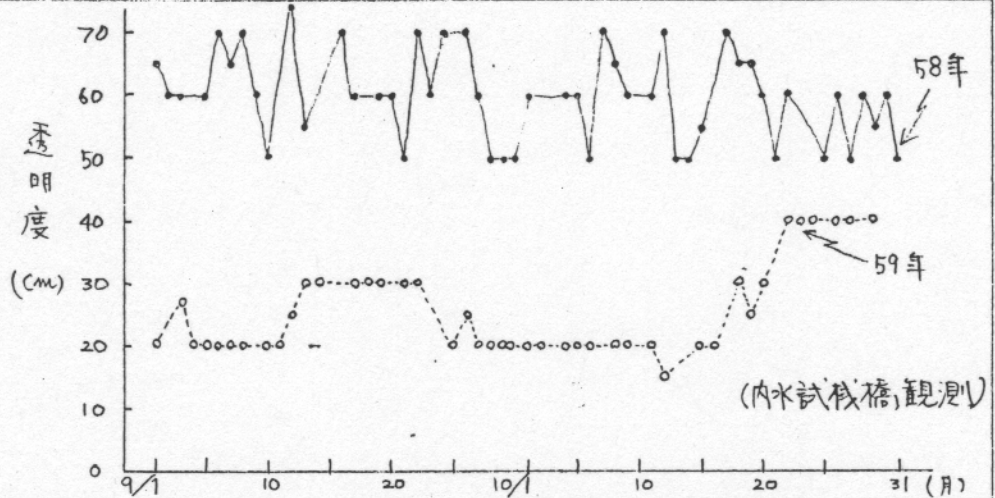


内水試  
かわら版  
58号

# 透明度が低い

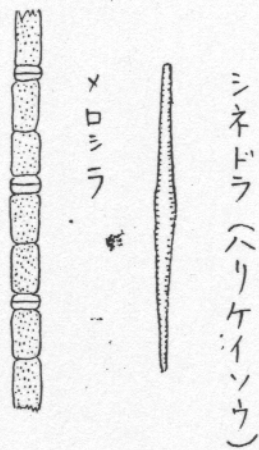
十月に入ってからも透明度が低い状態が続いています。透明度は、直径約30cmの白い円板を沈めて見えなくなる深さで表わしますが、透明度が低い(数字が小さい)と植物プランクトン(アオコなど)が多い傾向にあります。

下の回は内水試験橋で毎朝測定した値を示したものです。昨年と比べると、大変透明度が低いことが判ります。



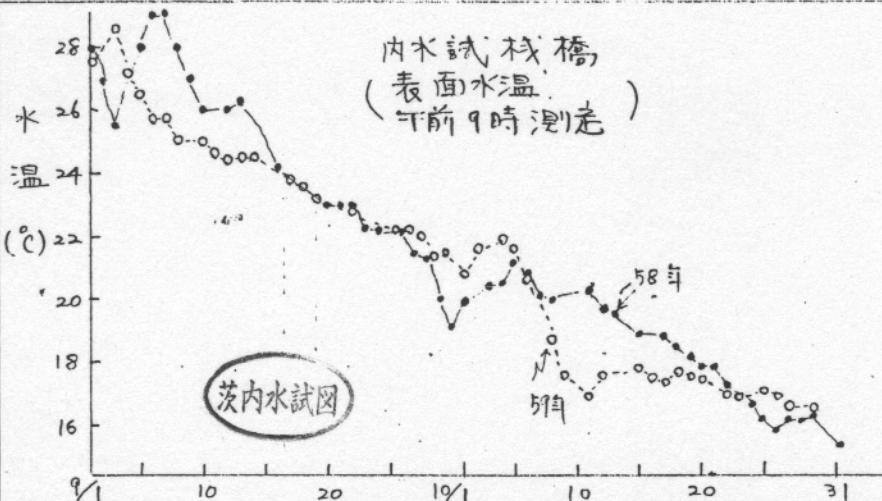
しかし、十月の二〇日頃から徐々に透明度は上昇してきており、次第に昨

年の水準に近づいているようです。これは、夏型プランクトンのアオコが枯れ始め、秋・春型プランクトンの珪藻(左図)に代って来たためと思われる。



このプランクトンの代る時期に、水が悪くなる事が多く、十月の十八日頃に網いけす養殖鯉の調子が悪くなったのも、これが原因かもしれません。

今年の夏の水温は例年より高く推移しました



が、九月上旬と十月中旬は、昨年よりも低くなっています。しかし、全体的には、昨年並みの水温下降傾向とみてよいと思えます。